

日本の女子は、OECD生徒の学習到達度調査(PISA)等の調査で世界トップクラスの理数学力を持つ一方、ロールモデルの欠如等の環境要因が進路選択を阻んでいるのが現状である。そのため当財団は、将来の進路を左右する「文理選択」の段階における女子生徒への支援を重視している。「STEM(理

当財団は、誰もが自身の能力を最大限に発揮できる社会の実現を目的として、2021年に設立された。現在は、STEM(理系)分野におけるジェンダーギャップの解消に注力して活動しており、2025年時点で22.44%にとどまる大学入学者におけるSTEM分野(理学部・工学部)の女性比率を、2035年までに28%へ引き上げることを目標としている。



**YAMADA
SHINTARO
D&I
FOUNDATION**

公益財団法人山田進太郎D&I財団

- 設立：2021年7月1日
- 従業員数：9人(2026年4月1日現在)
- 本社所在地：〒107-0061
東京都港区北青山2-14-4
the ARGYLE aoyama 6階
- 事業内容：
 - ・STEM(理系)女子奨学助成金の運営・給付
 - ・中高生女子向けSTEM領域のツアー型体験プログラム「Girls Meet STEM」の運営
- URL：<https://shinfdn.org/>



Girls Meet STEMオフィスツアーの様子



2次元コード(調査・提言
レポート「Project0.91%」)

が活かされる社会への変革を推進している。また、国際女性デーを契機に、調査・提言レポート「『Project0.91%』―『黄金の3割』突破に必要なのは100人に1人の変化―」を公開している(詳細は左記2次元コード参照)。

系)女子奨学助成金」事業では、受給者のSTEM学部への進学率が非受給者と比べて26.6ポイント高いという強い効果が実証された。また、企業や大学での就学・就業体験を提供する「Girls Meet STEM」事業では、参加前後で理系選択の意向が約58.6%高まるなど、身近なロールモデルとの接触が進路選択を後押しすることがデータで確認されている。こうした実証的なエビデンスに基づき、情報提供や体験機会の創出を通じて女子生徒をエンパワーメントし、多様な視点が活かされる社会への変革を推進している。

MESSAGE

産業界と共に進める
次世代人材育成

代表理事

山田進太郎

やまだ しんたろう



STEM領域の女性不足は、一大学や一企業で解決できる問題ではなく、産業界全体での取り組みが不可欠な構造的課題です。経団連への入会を機に、会員の皆さまとの連携を一層深めてまいりたいと考えています。

その一歩として、奨学金や「Girls Meet STEM」への参画、協力などを検討いただけますと幸いです。皆さまと共に次世代の多様な人材を育成し、日本社会のイノベーション創出を力強く支えていきたいと考えています。